

令和3年度 学校総合評価

1 今年度の重点目標に対する総合評価

学校の現状を踏まえ、3項目を重点課題として取り組んだ。取り組み当初に設定した数値目標については、達成できた項目もあれば、達成目標には到達できなかった項目もあった。各重点課題の評価は次のとおりである。

(1) 学習内容表に基づいた授業実践、授業改善

昨年度までの学校課題解明に向けての取組では、日頃から育てたい力を意識し、教科や単元の目標につながる学習内容と指導の手立てを記載した学習内容表を作成してきた。今年度は、各学部で作成した学習内容表を基に、他教科、他の授業とのつながりを考えた授業実践・授業改善に取り組み、育てたい力を具体化し、各学部2～5の研究グループに分かれて事前・事後検討会で協議を重ねることができた。授業実践では、全てのグループで3事例以上の授業実践を行う目標は達成できたが、教員へのアンケート調査では「育てたい力を育むための指導実践ができた。」と回答した割合が低く、目標とした値を達成することができなかった。

(2) ニーズに応じた進路に関する情報発信の充実

保護者の進路に関する意識・関心は高いが、保護者に対して十分な進路支援に関する情報や進路情報を提供する機会が少ないことや進路情報を提供する進路掲示板が活用されていないなどの課題が挙げられていた。そのため、保護者が情報を受け取りやすいよう、進路指導部通信の発行だけでなくや学校ホームページへの情報の掲載を多く行うようにした。また、教員や保護者への情報提供、情報交換の機会として、高等部進路懇談会などを4回設定した。どちらも目標に達することができた。

(3) 学校ホームページ（以下HP）の充実とニーズに応じた情報発信

学校HPは、児童生徒や保護者はもちろん、本校を知りたい人が得たい情報を得るための手段の一つであり、コロナ禍もあり、近年特に閲覧頻度が高まっている。そこで、閲覧者の満足度やニーズを把握し、適切に必要な情報発信を行い、多くの閲覧者の利便性を高めていく必要性を感じ、毎月5回以上の学校HPの更新と年2回アンケートを実施して満足度を確認した。学校HPの構成を見直したり、各分掌と連携して情報の充実を図ったりしたことで、学校関係者からは、以前より内容が充実していることや学校HPの有効活用に努めてほしいなどの意見をいただき、目標は概ね達成された。

2 次年度へ向けての課題と方策

今年度の重点課題については、今後も継続して取り組み、定着や発展を図る必要がある。次年度に向けた方策等については、以下のとおりである。

- (1) 児童生徒の主体的、対話的で深い学びにつながる教科等横断的な学習活動が展開できるよう、学習内容表に基づいた授業実践を年間指導計画の見直しに生かす。
- (2) 年齢や障害の特性に応じた細やかな進路情報の提供が必要である。また、教員が適切な進路支援を行えるような知識や情報を得る機会を設ける。
- (3) 学校HPへのニーズを的確に把握し、各分掌や各学部と連携して、コンテンツの更なる充実を図っていく。

3 学校アクションプラン

令和3年度 富山総合支援学校アクションプラン - 1 -		研修部
重点項目	学習活動—研修	
重点課題	学習内容表に基づいた授業実践、授業改善	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までの学校課題解明のための取組では、日頃から育てたい力を意識し、教科や単元の目標につながる「何を学ぶか」と、指導の手立てと関わる「どのように学ぶか」を取り入れた学習内容表を各学部で作成した。 ・学習内容表から、他教科や他の授業とのつながりを考えた授業実践・授業改善を行い、育てたい力を育むための指導につなげていく必要がある。 	
達成目標	学習内容表に基づいた授業実践についてのアンケート調査で、「育てたい力を育むための指導実践ができた」と回答した割合が80%以上。	学習内容表を用いた授業実践を1グループにつき3事例以上。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部2～5の研究グループを立ち上げ、グループで1名を研究授業者とし、対象児童生徒（グループ）の育てたい力を一つ決めて学習内容表に基づいた授業実践・授業改善を行う。 ・研究授業から得られたことを他の授業とも関連付け、指導内容や指導の手立てを考え、育てたい力を育むための指導を実践する。 	
達 成 度	「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した割合 6月：約22% 12月：約55% 6月：平均 2.07 12月：平均 2.39	すべてのグループで3事例以上、授業実践を行った。
具体的な取組状況	<p>小学部5、中学部2、高等部4の研究グループで実践を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○育てたい力の具体化 <ul style="list-style-type: none"> ・育てたい力の内容を具体化し、再度学部内で確認した。 ○事前検討会の実施と学習指導案の作成・検討 <ul style="list-style-type: none"> ・授業実践に際し、授業者の思いや指導内容等を確認したり、「学部研修ワークシート」を用いて対象児童生徒の育てたい力の実態や具体的な目標を協議したりする事前検討会を実施した。 ・各グループで「学部研修ワークシート」をもとに学習指導案を作成した。 ○事後検討会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・授業を参観（VTR 視聴）し、気付いたことを協議・共有し合う事後検討会を実施した。 ・協議に際しては付箋に、①授業中の児童生徒の言動、②参観者の解釈、③改善案を記載し、視点を絞って協議した。 ・研究授業から得られた成果を他の授業と関連付けて実践し、その実践結果を共有して指導内容や指導の手立てが育てたい力を育むことにつながったかどうかを協議した。 	
評 価	C	アンケート結果から、目標とした値を達成できなかった。
学校関係者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の個々の特性を理解し、他教科等とのつながりを考えながらそれぞれの育てたい力を育むためには、教員が協同で日々の教育活動を行うことが重要であり、目標として、妥当と思われる。 	
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・育てたい力や学習内容表を作成した意図は理解されていたが、授業実践に結び付いていなかったことから、研修の進め方や目的について丁寧な説明が必要である。 ・児童生徒の主体的、対話的で深い学びにつながる教科等横断的な学習活動が展開できるよう、学習内容表に基づいた授業実践を年間指導計画の見直しに生かす必要がある。 	

（ 評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった ）

令和3年度 富山総合支援学校アクションプラン - 2 -		進路指導部
重点項目	進路支援	
重点課題	ニーズに応じた進路に関する情報発信の充実	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の進路に関する意識・関心は高いが、保護者に対して十分な進路支援や進路情報を提供する機会が少ないため、進路選択・進路決定に戸惑っている様子が見られる。 ・進路指導部通信（チャレンジネット）や進路掲示板が十分に活用されていない。 ・保護者が求めている情報の把握が不十分であるとともに、教員や保護者への情報提供、情報交換の機会があまりない。 	
達成目標	様々なメディアを活用した進路情報の発信；年間10回以上	教員や保護者への情報提供、情報交換の機会を設ける；年間3回以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・就業体験や生活体験などの進路情報について、保護者のニーズを考慮しながら、進路指導部通信、進路掲示板、学校ホームページなど様々なメディアを通じて情報発信をする。 ・PTA進路委員会と連携し、ニーズに応じた情報提供に努める。また、各学部ごとに教員の進路支援情報のニーズを把握し、必要な情報を提供するとともに、保護者との情報交換の場を設定し、年齢段階に応じた情報発信を行う。 	
達 成 度	情報発信 11回	情報提供 4回
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○進路情報の発信（進路掲示板の活用、学校ホームページに掲載） <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部通信（チャレンジネット）1号、2号、3号 ・高等部学部懇談会～進路指導部より～ ・就業体験・生活体験の体験先、体験内容の一覧（6月）（11月） ・就業体験の事業所からの評価と課題（6月）（11月） ・「特別支援学校就労応援団とやま」登録企業一覧のリンク ・「仕事（企業）見学会2021」体験先・仕事内容 ・特別支援学校就労支援セミナー ○教員や保護者への情報提供、情報交換の機会の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・高等部進路懇談会（PTA進路委員会主催） ・職業講話 ・特別支援学校就労支援セミナー（富山労働局主催） ・教員へのニーズに応じた情報提供 	
評 価	A	数値目標を達成した
学校関係者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が地域社会に支援者を見つけ、子供たちが、地域の中で育つのに役立つような進路支援の活用方法を模索していくことが必要である。 ・様々なメディアを活用し、情報交換が有意義に行われていた。 ・頻回に情報提供をすることで、一定の効果を得られ満足できる保護者もいるが、年齢や学部とは別に障害の特性に応じた情報提供も必要である。 	
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小学部、中学部の保護者のニーズを把握するためのアンケート調査を行い、回答に応じた進路懇談会を実施する。 ・各学部教員からのニーズを基に、キャリア発達に関する観点の整理、キャリア教育全体計画を作成し、キャリア教育を推進する。 	

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった）

令和3年度 富山総合支援学校アクションプラン - 3 -		図書情報部
重点項目	その他—学校ホームページ（以下、学校HP）	
重点課題	学校HPの充実とニーズに応じた情報発信	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・本校では、学校HPを通して、学校の概要や学習の様子、日々の話題や情報を年30回以上発信しているが、閲覧者のニーズに応じた情報を定期的に提供しているとは言えない。 ・閲覧者の満足度やニーズを把握したり、内容を充実させたりしていく必要がある。 ・適切に必要な情報発信により、児童生徒や保護者、教職員をはじめ、多くの閲覧者にとっての利便性を高めていくことが必要である。 	
達成目標	学校HPに関するアンケートを実施し、情報発信が「役に立った」の項目の回答が全体で70%以上。	学校HPを毎月5回以上更新。（6月～12月）
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒や保護者、教職員、関係機関に学校HPに関するアンケートを実施し、学校HPに対するニーズや得たい情報を明らかにする。 ・構成や内容を見直す。 ・各学部や各分掌と連携を図り、必要なコンテンツを収集する。 	
達 成 度	7月と12月にアンケートを実施。 学校HPを評価している割合は72.5%	学校HPの更新は、8月以外は毎月5回以上。8月のみ4回。
具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○学校HPに関するアンケートを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・進路に関する情報提供、月ごとの行事予定の掲載、学習の様子等の公開のニーズが多くみられた。 ○学校HPの構成を見直した。 <ul style="list-style-type: none"> ・トップページのメニューバーの内容を分かりやすいようにまとめた。 ・教務部と連携し、月ごとの行事予定を見やすい位置で掲載した。 ・進路指導部と連携し、進路情報や就業体験の評価と課題、就労支援セミナーの報告等、多くの情報を発信した。 ○各学部と連携し、定期的に学部の情報を発信した。 <ul style="list-style-type: none"> ・日頃の学習の様子を月に2回、掲載した。 ○各分掌と連携し、情報の充実を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・富山県内の特別支援学校のHPと本校のHPを比較した。各校のHPは、特色を生かした構成であり、本校でも必要なコンテンツは何かを検討し、各分掌から必要と思われるコンテンツを収集し掲載した。 	
評 価	B	目標をほぼ達成した
学校関係者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・月5回以上の情報を発信したり、内容の充実を図ったりされており、以前より充実している。 ・学校HPを有効に活用し、児童生徒や保護者とより一層の情報共有に努めていく必要がある。 ・学校HPへのニーズをしっかりと把握し、内容に反映して欲しい。 	
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各分掌や各学部と連携し、コンテンツの更なる充実を図り、タイムリーな話題を提供できるようにする。 ・更新頻度を多くすることで、常に最新の状態にする。 	

（ 評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった ）